

第4期 国土交通省技術基本計画(H29-R3)の フォローアップ方針について

国土交通省

令和 3年 3月17日

1. フォローアップの目的・実施方針について
2. フォローアップの実施方法(案)について
3. 国土交通技術行政の基本政策懇談会について

1. フォローアップの目的・実施方針について

「第4期 国土交通省技術基本計画」での位置づけ

フォローアップの目的

- 国土交通行政における事業・施策の一層の効果・効率の向上を実現し、国土交通技術が国内外において広く社会に貢献するとの本計画の本来の目的を踏まえ、実施状況として把握すべき事項を整理し、適切な評価を経て、必要な改善を図る。
- 社会情勢や技術動向に基づく技術政策ニーズを適宜把握し、その変化に柔軟に対応するとともに、取り組むべき課題等について見直し等の必要性を検討する。

フォローアップの実施方針

- フォローアップ対象の設定
 - ・ 効果的・効率的にフォローアップを実施できるよう、フォローアップを実施する対象を設定。
- フォローアップの実施
 - ・ 進捗状況の把握等を行い、目標を達成するために必要な取組を着実に推進する上でボトルネックとなる課題を明らかにするとともに、外部環境の変化を分析して、計画の見直し等の必要性について検討する。
 - ・ 検討の結果、改善が必要と判断される場合には、改善方策を検討。



第22回技術部会(H30.4.12)において、下記について説明。

- ・ フォローアップの進め方(技術研究開発課題・技術政策)
- ・ 「国土交通技術行政の基本政策懇談会」の設置

- 以下の4つの柱で、今後、主体的に行っていくこととする技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)を整理。
 1. 安全・安心の確保
 2. 持続可能な成長と地域の自律的な発展
 3. 技術基盤情報の整備
 4. 生産性革命の推進

フォローアップの進め方について

- フォローアップ対象の設定
 - ・ 技術研究開発課題176件(再掲重複あり)(全151件)の全ての課題をフォローアップ対象に設定。
- フォローアップの実施
 - ・ 毎年全ての技術開発課題について、進捗状況の把握等を行う。
 - ▷ 自己点検結果等を活用し、課題毎に進捗状況をモニタリング。
 - A: 予定を超えた進捗・目標達成、B: 予定された進捗・目標達成、C: 予定された進捗・目標未達、
-: 特性上、把握不能
 - ・ 達成状況の良い課題については、好事例として、技術部会にて成果を報告。
 - ・ 計画期間の3年目(1、2年目内容対象)及び5年目(3、4年目内容対象)には、過年度のモニタリング結果を踏まえ、技術基本計画の柱毎に俯瞰的な評価を実施。
 - ・ 技術革新の速い技術や新しいニーズを議論する場として、「国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)」を設置。

- 年に1回、各技術研究開発における進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。
- 計画期間の3年目(1、2年目内容対象)及び5年目(3、4年目内容対象)には、技術基本計画の柱毎の俯瞰的な評価について、技術部会にて御議論頂く。
- 基本政策懇談会における議論の結果について、技術部会にて御議論頂く。

- 技術研究開発以外の技術政策として、以下の4つを柱として整理がされており、各政策について、基本的な考え方、方策・方針について記述がされている。
 1. 好循環を実現する環境の整備
 2. 我が国の技術の強みを活かした国際展開
 3. 技術政策を支える人材育成
 4. 技術に対する社会の信頼の確保

フォローアップの進め方について

- フォローアップの実施
 - ・ 各政策について、進捗状況の把握等を行う。
 - ・ 社会情勢の変化等を踏まえ、各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性の有無につき検討を行う。

- ・ 毎回、各政策の進捗状況等に対して、技術部会にて御議論頂く。
- ・ 各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性が生じる場合には、変更点について、技術部会にて御議論頂く。

2-1. フォローアップの実施方法(案)について

- 技術研究開発課題・技術政策を対象に、これまでの実施内容等について、フォローアップを実施。
- 新しいニーズ等を議論する場として基本政策懇談会を設置。

<第22回技術部会>

技術研究開発課題

- (1) フォローアップ対象
- ・ 技術研究開発課題176件(全151件)の全ての課題。
- (2) フォローアップの実施方法
- ① 毎年全ての技術開発課題について、進捗把握を実施。
- ▷ 自己点検結果等を活用し、課題毎にモニタリング。
- A: 予定を超えた進捗・目標達成
 B: 予定された進捗・目標達成
 C: 予定された進捗・目標未達
 -: 特性上、把握不能
- ② 達成状況の良い課題について、好事例として技術部会にて成果を報告。
- ③ 3年目(1, 2年目内容対象)・5年目(3, 4年目内容対象)には、過年度のモニタリング結果を踏まえ、技術基本計画の柱毎に俯瞰的な評価を実施。
- (3) 新しいニーズ等を議論する場
- ・ 技術革新の速い技術や新しいニーズを議論する場として、「国土交通技術行政の基本政策懇談会(仮称)」を設置。

<今回の対応(案)>

- (1) フォローアップ対象
- ・ 全ての課題176件(全151件)を対象。
- (2) フォローアップの実施方法
- ① 全ての技術開発課題(176件)について、現時点の進捗状況を把握し、下記基準で自己点検を行う。
- ※ 具体的な目標設定が未実施
- A: 課題の取組の進捗が特に良い
 B: 課題の取組が進められている
 C: 課題の取組が十分に行われていない
 -: 特性上、把握不能
- ② 上記①の自己点検結果を踏まえ、好事例について技術部会にて報告。
- ③ 上記①の自己点検結果を踏まえ、現時点の柱毎の評価を行う。
- (3) 新しいニーズ等を議論する場
- ・ これまで計17回議論し、各ステージでとりまとめを実施。

2-2. フォローアップの実施方法(案)について

<第22回技術部会>

技術政策

(1) フォローアップの実施方法

- ① 各政策について、進捗状況の把握等を行う。
- ② 社会情勢の変化等を踏まえ、各政策の基本的な考え方、方策・方針について、変更の必要性の有無につき検討を行う。

全体

(2) フォローアップの体制

- ① 基本的に、年1回以上、技術基本計画のフォローアップを技術部会に報告し、ご議論頂く。
- ② フォローアップに際しては、関係業界、有識者等に対し、ヒアリングを実施。

<今回の対応(案)>

(1) フォローアップの実施方法

- ① 各政策について、現時点の進捗状況を把握。
- ② 昨今の社会情勢の変化等(新型コロナウイルス対応、国土強靱化、デジタル化、カーボンニュートラル等)については、基本政策懇談会において議論がなされているところ。追加や不足している論点等について、技術部会にてご意見を頂きたい。

(2) フォローアップの体制

- ① 現時点のフォローアップ結果を報告し、ご議論頂く。
- ② これまで、技術部会や基本政策懇談会において、関係業界・有識者に対してヒアリングを実施。フォローアップに際し、さらにヒアリングを実施すべき関係業界等があればご意見賜りたい。

2-3. 「技術研究開発課題」のフォローアップイメージ(案)

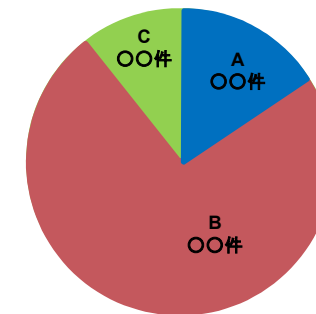
< 技術研究開発課題の構成 >

1. 安全・安心の確保 (75件)
 - 1-1) 防災・減災
 - 1-2) 安全・安心かつ効率的で円滑な交通
 - 1-3) 戦略的なメンテナンス
2. 持続可能な成長と地域の自立的な発展 (60件)
3. 技術情報基盤の整備 (5件)
4. 生産性革命の推進 (36件)

合計：176件
 (再掲の課題を重複して計上)
 全課題数：151件

「1. 安全・安心の確保」のフォローアップ結果

- A: 課題の取組の進捗が特に良い……〇〇件
 B: 課題の取組が進められている……〇〇件
 C: 課題の取組が十分に行われていない……〇〇件
 -: 特性上、把握不能……〇〇件



フォローアップ調査票

技術研究 開発課題	担当	研究期間		技術研究開発課題 の内容	実施内容	これまでの 課題	今後の取組	社会情勢の変 化とその対応	評価 (A, B, C, -)	評価の理由
		始期	終期 (予定)							
〇〇に関する研究	〇〇局									

・自己点検結果を踏まえ、好事例について技術部会にて報告予定。

社会資本整備審議会・交通政策審議会

技術部会

計画部会

環境部会

...

国土交通分野における科学技術の総合的かつ計画的な振興を
図るための基本的な政策について調査審議する

国土交通技術行政の基本政策懇談会

- ✓ 国土交通省の技術政策について、懇談会を設け、国土交通省が研究開発を行うべき課題について議論する。
- ✓ 議論は必要に応じて取りまとめ、今後の技術政策を検討する際の参考とする。
- ✓ 新たな技術基本計画の策定の際の参考としても活用

3-2. 国土交通技術行政の基本政策懇談会の概要

○技術基本計画のフォローアップの一環として、国交省が研究開発すべき課題、実施すべき施策等を議論することを目的に、技術部会の下に「国土交通技術行政の基本政策懇談会」を設置。

○これまで17回の懇談会を開催し、重要テーマを御議論頂くとともに、2回のとりまとめを実施。

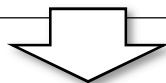
<主な議論テーマ>

1) 技術政策の進め方(横断的課題)

- データ駆動型の行政の推進
- 政策部局間、産官学の連携
- 技術の社会実装の迅速化・定着化 等

2) 主要技術政策の進め方(テーマ別)

- 新たなモビリティサービス
- 都市・地域マネジメント戦略
- 国際ゲートウェイ
- 物流ロジスティクス政策
- 防災・減災、国土強靱化
- カーボンニュートラル
- 新型コロナウイルス対応 等



◆ ファースト ステージ(計5回、H30.6~H31.2)
(第22回 技術部会で説明済み)

◆ セカンド ステージ (計6回、R1.6~R1.12)

◆ サード ステージ (計6回、R2.8~R2.12)

<委員名簿(令和2年12月24日)>

- (座長) 石田 東生 筑波大学 特命教授
 伊藤 香織 東京理科大学理工学部建築学科 教授
 鶴澤 潔 金沢工業大学革新複合材料研究開発センター(ICC) 教授
 春日 伸予 芝浦工業大学工学部 教授
 金山 洋一 富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
 木下 剛 千葉大学大学院園芸学研究科 准教授
 小池 俊雄 (国研)土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長
 小林 潔司 京都大学経営管理大学院 特任教授
 柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター 教授
 高木 健 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授
 谷口 綾子 筑波大学システム情報系社会工学域 教授
 谷口 守 筑波大学システム情報系社会工学域 教授
 中川 聡子 東京都市大学工学部 教授
 羽藤 英二 東京大学大学院工学系研究科 教授
 福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター 教授
 藤田 壮 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授
 藤野 陽三 城西大学 学長
 二村 真理子 東京女子大学現代教養学部国際社会学科 教授
 堀 宗朗 国立研究開発法人海洋研究開発機構付加価値情報創生部門 部門長
 松尾 亜紀子 慶應義塾大学理工学部 教授
 屋井 鉄雄 東京工業大学環境・社会理工学院 教授
 山田 正 中央大学理工学部 教授

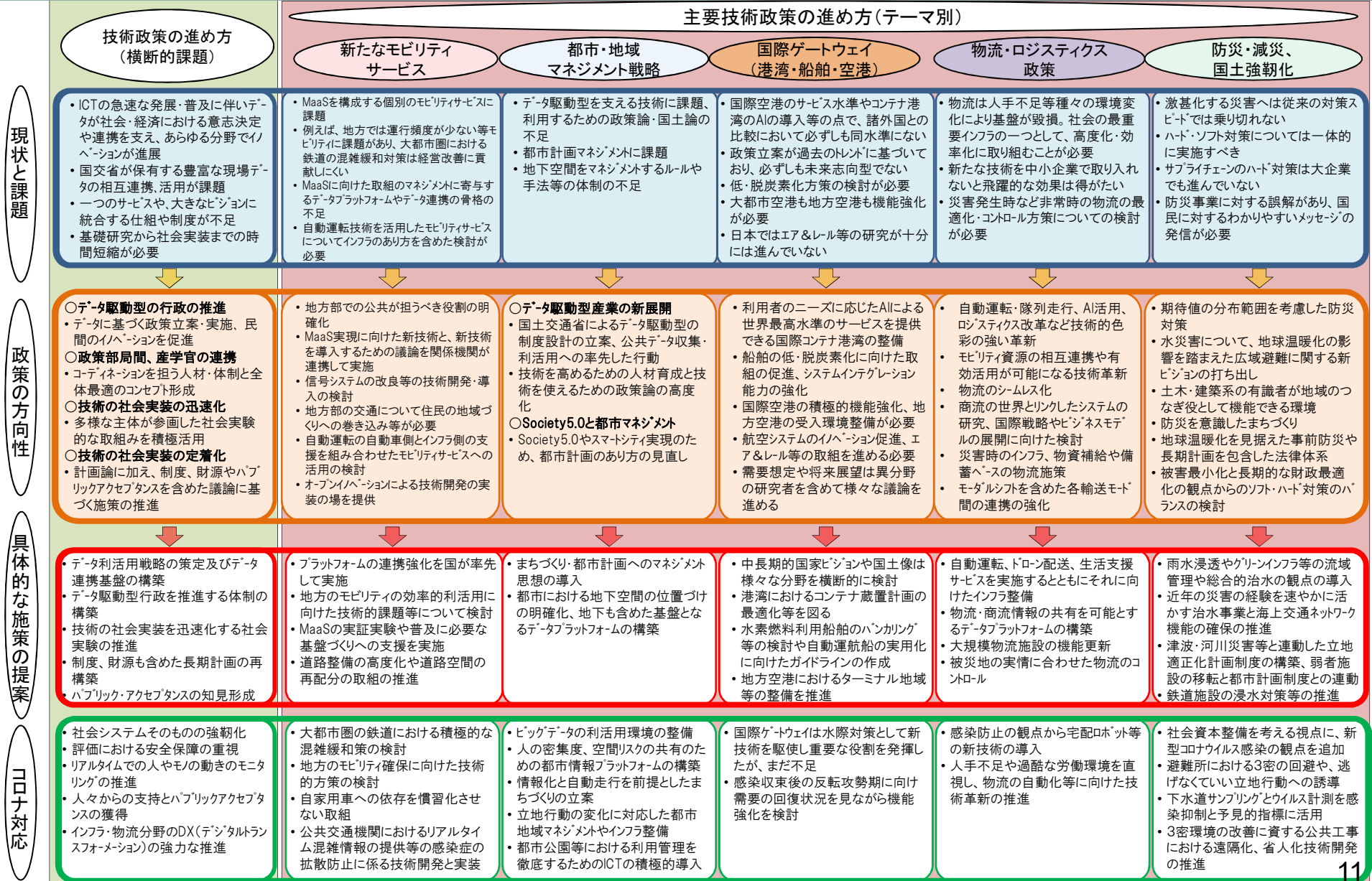
(五十音順、敬称略)

3-3. 国土交通技術行政の基本政策懇談会の開催経緯

		開催日	テーマ
ファースト ステージ	第1回	H30.6.22	「モビリティ、オープンデータ化」
	第2回	H30.8.1	「地球温暖化、防災、国土強靱化、安全」及び 「グリーンイノベーション、グリーンインフラ」
	第3回	H30.8.31	「コンパクトシティ、地方創生、都市のあり方」
	第4回	H30.9.3	「メンテナンス、新素材、新工法」、「宇宙利用、海外展開」、「モビリティ、オープンデータ」
	とりまとめ	H31.11.16	「中間とりまとめ」
セカンド ステージ	第5回	H31.2.25	「中間とりまとめのフォローアップ、今後の進め方(新たな課題テーマ等)」
	第6回	R1.6.21	「新たなモビリティサービス(鉄道、バス、低速型モビリティ)」
	第7回	R1.7.10	「国際ゲートウェイ戦略(港湾、空港)」
	第8回	R1.9.30	「都市・地域マネジメント戦略」、「これまでのフォローアップ(データ駆動型・スマートシティ)」
	第9回	R1.10.11	「物流・ロジスティック政策」
	第10回	R1.12.13	「防災・減災、国土強靱化」
	第11回	R1.12.25	「地域・都市マネジメント戦略」
	委員提出 資料	R2.4.27	「新型コロナウイルス感染症対応の追加的事項」
	とりまとめ	R2.7.3	「セカンドステージとりまとめ」
サード ステージ	第12回	R2.8.24	「新型コロナウイルス感染症を踏まえた国土交通技術政策総論」
	第13回	R2.9.10	「モビリティ」
	第14回	R2.10.30	「スマートシティ、スマートローカル、公園住環境、グリーンインフラ」
	第15回	R2.11.11	「物流、国際ゲートウェイ」
	第16回	R2.12.15	「防災・減災、国土強靱化」
	第17回	R2.12.24	「カーボンニュートラル、地球温暖化対策、グリーンイノベーション、コロナ」

3-4. セカンドステージ とりまとめ 概要 (R2.7.3)

技術政策の推進にあたり、平成30年度の間とりまとめに続き行った、「国土交通技術行政の基本政策懇談会」における議論に加え、新型コロナウイルス感染症も踏まえた、技術政策の進め方(横断的課題)と主要技術政策の方向性(テーマ別)について、セカンドステージとしてとりまとめた。



技術政策の推進に当たり、重要テーマ毎に議論を深化させ、技術政策の取組みの加速を図ることを目的として、「国土交通技術行政の基本政策懇談会」において議論を行い、技術政策の進め方と主要技術政策の方向性について、中間的にとりまとめた。

